



なかに じゅんこ
中谷 潤子 教授



出身地

関西を中心に転々
親が転勤族だったため



専門分野

社会言語学、日本語教育

Q

担当科目を教えてください。

A

【社会言語学】

言語そのものの構造ではなく、言語を使っている人、その社会に注目するのが社会言語学です。方言、流行語、バイリンガル、多くのことばが飛び交っている社会など、あなたにとっても身近な事象について考えます。

【日本語教育学概論】

「日本語を教える」とは何でしょう。日本人だったら誰でも日本語が教えられると思いますか。国際学科には日本語教員養成プログラムがあります。日本語教師とは何か、日本語教育とは何か。「日本語を教える」ことに興味を持った人にとっての「入口」、それが日本語教育学概論です。

Q

専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

科目名1の社会言語学が専門分野です。私自身は、移民の言語に関心をもって研究をしています。何百もの言語が話されているインドネシアの人や、インドネシアから外国に働きに行っている人の言語使用などを調査しています。また、これまでゼミの卒業生には、方言使用や自分のルーツの言語文化の継承などについて卒業論文を書いた人もいます。社会言語学の世界を知ると、あなたの周りの言語と使用に興味が湧くかもしれませんよ。

Q 先生の人となりをお教えてください。

A

学生時代はいわゆる「バックパッカー」で、休みのたびに大きなリュックサックを背負い、一人で海外を旅していました。インターネットもスマホもありませんでした。そのころに見た世界、異文化体験が今の自分につながっています。

会社を辞めて日本語教師となり、インドネシアと台湾、そして日本で日本語を教えました。日本語を教えること、様々な人と触れ合うことが大好きです。

Q 学生みなさんへメッセージを！

A

〇〇人のように〇〇語が話せるようになりたい!と思っている人もいます。その〇〇語ってどのようなものなのでしょう?例えば、日本語には方言もあります。相手によって敬語を使ったりすることもあるでしょう。言語には様々なバリエーションがあります。

あなた自身とその周りと言語の関連性に目を向けてみませんか。